子育て支援だより

「子育てワンポイントアドバイス」

第139回 「今の日本の大きな問題の一つは「よい子」にこだわりすぎることです。～河合隼雄～」

こころの相談員 前田 里美

「よい子」とは悪い事をせず成績も良い、親の言う通りにする手のかからない子のことを指すのでしょう。河合さんのある対談集に登場する一線で活躍する方々は子ども時代に問題児と言われるような人も多いのですが、幼少期によい子である事が必ずしもよいとは限らないということです。

親にとっては育てやすい「よい子」であるに越したことはないでしょうが、「悪の排除をすればよいというわけではない」とも河合さんは言っています。人を傷つけるような悪は断固として許してはいけませんが、様々な経験をさせ子ども自身に考えて行動させる。社会に出れば学校内とは違う世界が待っており、一切悪に接しないのは不可能であり様々な事が混在しています。そこで生き抜いていけることが重要でしょう。

親が「よい子」であることを求めるなら、子どもは親に認めてもらおうとしてよい子になろうとします。親に認めてもらえなくても平気な子どもなんていません。そして、成長するにつれて親が求める「よい子」から離れて自分のやりたい事を見つけていきます。「小中学生はまだ子どもなのだから、親の言う通りにしていればいい」と、親が段取りし過ぎて指図したり自由を奪ったりすると、子どもが自分で考えることをやめたり、自分の思いを言えずに親の言いなりになるしかなくなったり、納得できずに心のバランスを崩すこともあります。一方、はっきり自分の思いを言えてもただの反抗としか受け取られない子どももいるでしょう。反抗は成長の一つであり自分というものを確立するのに必要な段階です。大人はそれを抑え込むのではなく上手に受け止められるといいですね。

※前田相談員は、朝日小学校・中学校で相談活動を行っています。

6月活動報告

6月20日（火） アフタービクス

ダンスインストラクターによる、赤ちゃんと行う産後エクササイズの教室です！

対象：出産後２ヶ月から６ヶ月未満の産婦とその赤ちゃん

月齢７ヶ月以上の子どもの託児もあります。申し込みが必要ですので、日程など詳しくは、広報あさひ最終ページ「生活カレンダー」をご覧ください。